

音モダチ・プロジェクト 被災地支援活動 vol.3 2011/7/25-27

支援活動3度目の訪問は石巻、東松島、仙台にて行わせて頂きました。

石巻の街に入ると建物は被害を受けたままの状態のところが多く、まだ全国からの警察により手信号をしているところも多くありました。演奏の前に女川の港に来ました。町はほとんど壊滅されており、地盤沈下で満潮になると海がすぐ近くまでできてしまうようでした。ペンギンのぬいぐるみとカエルのコップを見つけ、救助しました。きっと誰かにも可愛がられていたんだろうにな・・・復興という言葉はまだまだ程遠い、そんなことを改めて気付かされ、これからの活動をすすめていきたいと思いました。



女川の街。



石巻はマンガのオブジェが街の至る所に

演奏を石巻の避難所でさせていただきました。こちらには20世帯ほどの方が住まわれているとのことでした。

庭で行う予定でしたが雨が少し降ってきてしまい皆さんの住まわれているお部屋にお邪魔をして行わせていただくことになりました。

マイクなしの生音の演奏でしたが皆さまに喜んでいただけ嬉しかったです。

避難所のリーダーの方からいろいろお話を伺いました。

仮設に入れない理由、今一番困っていること、などなど。

本当の生の声を聞かせていただけました。いくらテレビの前で話しても取り上げてもらえないとおっしゃっていました。

こちらでの演奏のご手配くださいました石巻災害復興支援協議会さまありがとうございました。



避難所となっていた福祉会館



避難所の皆さまと。しきりもなく1人布団1枚のスペースに身の回りの物を置き生活されていました。

翌日は、東松島市の高齢者施設やもと赤井の里さんにて演奏をさせていただきました。

特別養護老人ホームに入所されている方、デイサービスご利用の方、職員の皆様、たくさんの皆さまにお聴きいただきました。

とてもキレイな施設でしたがこちらにも津波は押し寄せ、大変な被害を受けたとのことでした。

職員の方も仮設住宅から通って来ている方がたくさんいらっしゃると伺いました。

手拍子をいただいたり、一緒に歌って下さったり！！

皆さまに楽しんでいただくはずなのに、皆さまの笑顔に私たちが元気をいただきました。

本当にありがとうございました。



演奏の後は記念撮影です

やもと赤井の里さんでの演奏を終え、仙台市内に戻りました。
この日の夜は仙台市役所前のリメンバーというお店のチャリティーイベントに参加しました。
弾き語りの方、バンドで出演の方など、大勢参加されていました。
我々のステージでは同行された元宝塚の研ルイスさんとともに歌ったのをはじめ、
仙台の方から寄せられた詩に曲をつけました「震災の街～未来(あす)は明るく」を
お届けしました。そして震災直後に被災地応援歌として作られました「尊き愛の命の力」を
被災地では初めて演奏させていただきました。
おひとりおひとりいろんな想いをもって聴いてくださっているのかと思うと
とても胸が熱くなりました。

そして今回のコンサートの世話人の工藤さん、お怪我されている中いろいろと
ありがとうございました



雰囲気のある素敵なお店でした！

今回の支援活動最後は仙台市若林区の特別養護老人ホーム萩の風さんにて演奏させていただきました。
若林区はたくさん被害、犠牲があったところですが、こちらの施設まで津波は来ずに、
新しい建物ということもあり被害は少なかったそうです。
皆さまに手拍子やかけ声をいただいりしながら演奏をさせていただきました。
施設長さんや職員の方々にもいろんなお話も伺いました。

普段は民謡や演歌に慣れ親しんでいることが多いですが、ジャズなどの曲も披露して頂き、
利用者様からは「まさかこのような曲が施設で聞けると思わなかった」等の喜びの言葉が
聞かれました。全て生演奏という事で楽器やピアノの演奏に満足されたようです。

と、施設長さんからお言葉でした。



萩の風さんの光溢れるフロアでの演奏です



終了後は笑顔でご挨拶です。

今回の支援ツアーではお会いした皆さまが前へ進もうと笑顔で元気に頑張られているお姿が
印象的でした。

実際まだまだ元の生活に戻ることができるわけではなく、大変な生活を続けられ、
場所によっては本当に何も変わっていないところもあるけれど、

『震災の街～未来は明るく』にもあるように、

「前へ進もう、一歩ずつ」

とっていただけるよう、私たちは支援活動を続けていけたらと切に思います。